



株式会社山崎建設様への紺綬褒章伝達式を執り行いました

6月4日、株式会社山崎建設 代表取締役 山崎虎次様に、小松市長から紺綬褒章が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄附された方に対して国から授与される褒章です。いただきました寄附はご意向により新型コロナ対策のために活用しております。

市長は、「マスクや消毒液などが不足する中、いち早く多額のご寄附をいただいたことに心より感謝申し上げる。今後も地域を代表する企業としてご活躍いただき、市の発展にご協力いただきたい。」と感謝の言葉を述べました。

山崎代表取締役からは、「今後とも企業一丸となって、地域住民の安全安心に尽力したい。」とのお言葉をいただきました。

栄えある褒章のご受章、誠にありがとうございます。



武雄市子ども図書館が文部科学大臣表彰を受賞しました

子ども図書館が、令和3年度文部科学大臣表彰「子供の読書活動優秀実践図書館」を受賞し、武雄市図書館・歴史資料館溝上館長、司書の緒方千恵さん、読み聞かせボランティア「おはなし会たけお」の岸本奈保子さんと梅崎登代子さんが受賞報告のため市役所を訪問されました。

今回の受賞は、地域ボランティアの皆さまと図書館司書で毎日開催しているおはなし会や子ども読書会、子ども司書講座など子どもの読書活動の推進に大きく寄与していることが評価されたものです。

緒方千恵さんは、「地域の皆さまの支えがあつての受賞です。これからも楽しいイベントを企画していきたい。」と抱負を述べられました。



電気自動車を活用した災害連携協定を締結しました

6月4日、日産自動車株式会社、佐賀日産自動車株式会社および株式会社日産サテオ佐賀と電気自動車を活用した災害連携協定を締結しました。

市内で自然災害による大規模な停電が発生した際、市が指定する避難所等に、日産の販売会社の店舗に備えている電気自動車を無償で貸与いただき、災害時にも避難所等で継続して電力が供給できる体制を整え、市民の生命及び身体の安全を守ることを目的としています。

また、平常時も市の訓練・イベント等で活用し、「走る蓄電池」としての活用を市民へ積極的にアピールし、環境・防災意識向上を目指します。なお、この協定は県内で初の試みとなります。



第1回武雄市文化のまちづくりデザイン会議を開催しました

5月25日、文化のまちづくりについて意見交換をするため、学術・文化・経済関係者など16名で構成される有識者会議「武雄市文化のまちづくりデザイン会議」を開催しました。第1回目は「文化とは何か?」というテーマで各委員より様々な意見が出されました。

この会議を通して、武雄市では新しい文化の創造、文化によるまちのにぎわいの創出を目指し、文化を活かしたまちづくりを実現するため「文化のまちづくり構想」を策定します。

文化のまちづくりデザイン会議は全6回程度を予定しており、年内の構想策定を目指します。